

歴史もアートもグルメも

にしなりのここが好き!

西成区には、神社や伝統など1300年の歴史があるかと思えば、グルメも、ちんちん電車も、渡船もあって、見どころ満載!

アートやミュージックシーンもたくさんあります。

みんなで選んだ「西成のええとこ、ええもん」を一挙にラインナップ!

ノスタルジーあふれる風景や、四季折々のあれこれを訪ねて歩き、散策・発見してみてください。



場所は22ページの「西成ガイドマップ」をご覧ください。



©飯島 隆

大阪フィルハーモニー交響楽団

1947(昭和22)年に「関西交響楽団」という名前で生まれました。岸里にオーケストラ練習場があり、地域の音楽普及活動に力を入れています。

- 文化を大切にしたい。
- 大阪を代表するオーケストラが西成にあるのはうれしい。(50代・女性)
- カリヨンがなんともいえず Good!



▶MAP②



1905(明治38)年に南海天下茶屋線の西にロシア人俘虜(ふりよ)収容所がありました。



日露戦争大阪天下茶屋俘虜収容所歴史顕彰碑

- 地元で知らなかった歴史を、外の多くの人にも知ってもらいたい。(60代・女性)
- 西成区とロシアの友好関係の絆となりました。(70代以上・男性)

▶MAP①



渡船(落合上渡・落合下渡・千本松渡)

大正区と西成区の境を流れる本津川には、渡船が3カ所所運行しており、生活の足となっています。

- 千本松の渡し船とめがね橋のある風景がとても面白いと思います。
- 大阪市内にいくつもある渡し船のうち3つもあるというのは、すごいです。橋ができてバスが通るのに船も残っている意外性が好きです。(30代・女性)
- 無料で船に乗れ、夕暮れ時と朝日が川べりに赤くそまり最高。(50代・女性)
- 子供の頃七夕になると飾つてあった笹を流しに行っていた思い出があります。

▶MAP⑥⑥



阪堺電気軌道(路面電車)

1911(明治42)年に開業し、恵美須町〜浜寺駅前間が運行しています。開業から100年を超えた今も人々の足として運行する、大阪市内でただひとつの路面電車です。

- 自転車で走っていたら、すぐ近くで電車が通り過ぎるのを見られるので子供(3才)が大好きです。手を振ったら運転手さんがにっこりして下さるので、とても身近な憧れの存在になっています。(30代・女性)

▶MAP⑥



本企画は「教えて!あなたの好きな西成区(平成27年10月)」と題して「区内にある好きな場所、施設、イベント」などを募集し、応募いただいた中から紹介しています。



天下茶屋跡

- 太閤秀吉が住吉大社参拝や堺への往来の際、この茶店で休息、茶の湯を楽しみ付近の風景を賞したことからこの茶店を天下茶屋と呼ぶようになりました。
- 秀吉の茶席跡地等歴史を守って行きたい。(60代・女性)
- 歴史のある物件、文化財である。(70代以上・女性)

▶MAP⑥



だいがく・生根神社

- 長い丸太柱に79個の御神灯を飾り付けた巨大な櫓(やぐら)。府の有形文化財に指定されています。生根神社祭礼日(7月24日・25日)に公開されています。
- 夏まつりを初めてみた時、感動的だったから。(30代・女性)
- 生根神社の近くに住んでいるため、7月24日・25日は必ず観に行っています。我が町になくはならないものなので選びました。(50代・女性)
- だいがくは年々栄え、近くに住んでいるためとても嬉しいです。(70代以上・女性)



▶MAP⑥



千本松大橋(通称めがね橋)

木津川を船が安全に航行できるように、桁下を水面から33mの高さにする必要があり、兩岸の取付部は2段のらせん形状が採用されています。その形状から別名「めがね橋」の愛称で呼ばれています。

- 車でも自転車でも徒歩でもそれぞれの楽しさがあるところ。(20代・男性)

▶MAP⑦



勝間南瓜

- 西成区玉出(旧勝間村)で栽培されていたかぼちゃ。果皮は緑色で、熟すと赤茶色になり甘みが増し、最近はこの伝統野菜として注目されています。
- 地域の野菜(西成の大事な野菜)

